

すがもらいぶらり

2021年5月5日 巣鴨図書館発行



夏野菜、仕込みました！愛情こめて育てます♡

風薫る5月になりました。
しかしここ東京には、3度目の「緊急事態宣言」が発令されました。今年もステイホームのゴールデンウィークです。

巣鴨図書館は、ゴールデンウィーク中も開館（5月3日は休館日）しますが、滞在時間を1時間以内、また複数人でのご来館を控えていただくようお願いしております。ご来館される皆さまの安全と健康を守るための措置ですので、ご理解・ご協力を重ねてお願いいたします。

さて再びステイホームとなったゴールデンウィークの過ごし方として、感染対策を徹底してご来館いただき、ステイホームにうってつけの読書を楽しんでください。（館長）



せっかくおはなし会、はじまったのに…

またはじまる日を楽しみにまちます。♡

イラスト作

みんなであそぼう「あいうえお」 ～イベント実施中～

みんなで楽しもう
「あいうえお」

も え

カルタ

山内ジョージさんのもじえをつかって
カルタをつくってみよう！
たのしいことばをかながえてね。
おうほしてくれたひとには、もじえシールをプレゼントします。
(先着100名)
4/24(土)～5/27(木)

緊急事態宣言が発令してしまったため、おはなし会はしばらくお休みさせていただきます。
こちらのイベントは実施中ですので是非ご参加ください。

編集後記

コロナ禍で、ともすれば気持ちが沈みがちですが、「もじえカルタ」イベントに参加してくださったお子さんの読み札を見ると、心に一つ灯がともります。ご来館の折には、是非足を止めてみてください。

そして、コロナが落ち着いたら、この読み札を使ってカルタ会を実施したいと、夢をふくらませています。(M.)

「すがもがーでんだより」 第1号より

がーでんだより、第1号のトピックは、「野菜当てクイズ」
50人のお子さんが、参加してくださいました。



にんじん・だいこん・ごぼうの
どれかですよ～



左側から、
「ごぼう」・「にんじん」
「だいこん」が正解です！！

食いしん坊司書の部屋



今回のゲストは、この春巣鴨図書館の仲間になったフレッシュな新人司書Kさんです。

この春、巣鴨図書館の仲間になったK司書は、図書館で働くのは、ここが初めてというフレッシュさん。

最初に、今も心に残っている本を教えてくださいました。エミリー・ロッタの「フェアリー・レルム」シリーズ。まだ、文字が多い本（読み物）を読むことに抵抗があった小学生の頃に出会い、本が好きになるきっかけをくれた本だそうです。そして、大学では児童文化・文学を専攻されたKさん。巣鴨の児童コーナーにも、新しい風を吹き込んでくれるかもしれません。

プライベートでは、ハンドメイドのものが好きで、刺繍に挑戦中とのことですが、仕事中の楽しみは、「日々の新しい本との出会い」。そんなKさんの眼からは私たち先輩司書が、「本の知識が豊富」とみえているとのこと。目標にもらえる先輩司書になれるよう、精進しなくては(*^^*)

最後に、食のネタ。嫌いな食べ物は、「牡蠣」・「レバー」・「銀杏」…食べ物ではないけれど、「虫」も苦手と聞き、かつて一緒に働いていたとっても優秀な司書の方が、精密な昆虫図鑑を見る時、とっても辛そうにしていたのを思い出しました。児童向けの図鑑は、子どもにわかりやすく伝えるため、インパクトのあるデザインだったりするので、大人の方にも勧めですよ！

と、話は少し脱線しましたが、今回のインタビューはここで終わり(*^^*)

本が好きになるきっかけをくれた本

『フェアリー・レルム』シリーズ
エミリー・ロッタ/著
童心社

妖精の国が舞台のお話で、大人でもワクワクしながら読めるシリーズです。
中央図書館閉架書庫にあります。

じぞうくんのそぼくな疑問



初めまして、ぼくはじぞう。心にうつりゆくちょっとした疑問をここでつぶやいていくよ。



じぞうくんのところに、かっぱくんが遊びに来ましたよ。じぞうくんに教えてもらった本、とっても面白かったようです。

かっぱ こんにちは。紹介してもらった本、読み終わりました。面白かった～！じぞうくんにまた本を紹介してほしいと思って来ました。

じぞう こんにちは。次はどんな本が読みたいの？

かっぱ 今度はファンタジー小説で、海外のものを読んでみたいと思ってるんです。GWにぴったりな本、お願いします。

じぞう じゃあ有名な作品から、C.S.ルイスさんの「ライオンと魔女」。いなかの屋敷で暮らすピーターたち四人の兄弟が、衣装だんすを通してナルニア国へ行ってしまふんだ。そこは、なんでも石に変える白い魔女が支配していて、兄弟たちはライオンの王アスランと共に魔女の軍と戦うんだよね。たくましく成長していく四人の姿がかっこいいよ。

それからJ.R.R.トールキンさんの「ホビットの冒険」。ひっこみじあんで、気のいいホビットのビルボが、魔法使いガンダルフと13人のドワーフに誘いだされ、竜に奪われた宝をとり返しに旅立つんだ。「指輪物語」の主人公のお祖父さんの話だけど、こっちは笑いあり涙ありで楽しいよ。

どちらの主人公も、旅を通して、大事なものを守るため、勇気を奮い起こしながら、前に進んでいく姿がかっこいい。外出や旅行抜きGWには、ファンタジー小説で冒険の旅に出るのもおすすめだよ。

かっぱ ありがとうございます。さっそく借りてみます！

じぞうくんのおすすめ本はこちら

- ①『ライオンと魔女』C.S.ルイス/作 岩波書店（JBル）
- ②『ホビットの冒険 上・下』 J.R.R.トールキン/作 岩波書店（JBト）

じぞうのじもと行脚

＜豊島区暗渠さんぽ 目白→池袋編＞

『暗渠』。それは、簡単に言えば、蓋をされた川のこと。豊島区育ちの子供なら、一度は授業で聞いたことがあるはず。昨年9月号で、大塚三業通りを「谷端川の暗渠」と書きましたが、この川は、豊島区の西～北部にも流れており、現在は部分的に遊歩道になっています。今回は、西武池袋線椎名町駅付近から、山手通り沿いに川越街道まで続く谷端川南緑道を、道沿いにある目白図書館と池袋図書館に寄り道しつつ歩いてみました。

まずは椎名町駅南口から徒歩5分の、目白図書館を出発。一番近い踏切を渡り、右折してすぐの谷端川南緑道入口へ。ギリギリまで迫る建物と細い歩道に挟まれ、豊かな緑に囲まれた赤茶色の煉瓦の道を、北へ向かいます。谷端川にかかっていた橋の跡（欄干や橋名の銘板）や、煉瓦道に施された虫や水辺の生き物のモザイク画（保育園の前の道に巨大なテントウムシが！）に足を止め、立教通りの霜田橋跡では可愛いウサギと男の子の像にほっこり。時々見つかる細い路地には、暗渠の気配（やたらとマンホールが多い等）が漂います。緑道というだけあって、やはりメインの見どころは季節の花々。4月中旬は藤、モッコウバラ等がきれいでした。5月は所々にあるバラのアーチが見ごろになりそうです。

入口から30分程で、池袋図書館のある、みたけ通りへ。右折し、数分で池袋図書館に到着。目白図書館から小一時間のお散歩でした。その後は緑道に戻って終点、川越街道へ。交差点の熊野神社の上空には沢山の小さな鯉のぼりが泳ぎ、すでに初夏が始まっていました。（A）

ともぼん
お供本

旅のお供に
ふさわしい図書館
蔵書をご紹介します

『東京「暗渠」散歩—失われた川を歩く—改訂版』
実業之日本社（291.3 ホ）

『旧谷端川の橋の跡を探る』
豊島区立郷土資料館友の会（KO 090）